

## 市政功労受賞

10月1日が、いわき市の誕生日であることをご存知の方はどれくらいおられるでしょうか？この日、いわき市では毎年市政に功労のあった個人や団体に表彰を行っています。その栄に、今年ザ・ピープルが浴することになりました。市内の個人30名、2団体に贈られた功労賞授賞式の式典では、本会の理事長が表彰授与者を代表して謝辞も述べさせて頂きました。平成2年からの長いピープルの歴史の中に、また一つ歩みが刻まれました。これは、これまで本会の活動を支えて下さった多くの皆様のお力添えの賜物です。心からお礼申し上げます。



## コラボTシャツは如何ですか？

ピープルが東日本大震災後の農業再生を目指して進める「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」の最初の繊維製品、Tシャツが6月の販売開始以来、2000枚近くを完売しました。無地やプロジェクトのマスコットキャラクターであるコットンベイブ、アニメーションの「ナルト」とのコラボTシャツのほかに、企業の方々がコラボしてオリジナルのTシャツを作ってくださいるケースが大きな力になっています。先日、みずほFGの社員の皆様が平下大越地区でのボランティア作業にお見えの際には、地区の方々を含め100名以上の方がコラボTシャツを着て、作業にあたってくださいました。そのデザインは下大越地区の伝承芸能「三匹獅子舞」です。

また、来る11月4日いわき芸術交流館アリオス大ホールで催される「第55回住友商事ヤング・シンフォニー・東日本大震災復興支援チャリティコンサート」では、本会が「住友商事ユースチャレンジプログラム」の助成を頂いたのがご縁で、コットンの栽培に加わっている磐城農業高校の生徒がデザインした絵柄の乗ったTシャツがステージ衣装として使用されることになっています。

福島復興をみんなで！との想いの詰まったコラボTシャツ。機会があればぜひご活用ください。

## ふくしまグランマの活躍唐いですよ！

年が明ければ直ぐ冬季オリンピックです。極寒の地ソチで開催されるオリンピックの選手達や来場者が身につけるグッズ製作の仕事をふくしまグランマが引き受けました。

この夏に誕生したばかりのグランマ達は、コットン人形づくりをゆったり気分で楽しく取り組んでいましたが、9月(株)アバンティよりソチオリンピックに係る仕事を急遽依頼されました。編み物が大好きという皆さんだけに喜んで引き受けたところ、リストバンド1個を完成させるのに1時間はかかるほどの複雑な模様編み。期限は12月半ば。2000個のリストバンドを編み上げるには9人のメンバーでは不可能と不安になった中心者の根本クニ子さん。必死の思いで皆さんに呼びかけました。その結果仮設住宅や、既にふるさとに帰還した知人友人達が「素敵なボランティアのチャンスじゃないのやりましょうよ」と25人の方達が協力して下さるようになりました。そんな折り選手の方からこの度、「皆さんの思いとともに戦い抜き、必ずソチの大舞台で大活躍したいと思います。」との嬉しい手紙が届きました。この手紙を読みながら残り1000個の完成を目指し、益々ファイトを燃やすグランマの皆さん達です。



私たちの活動を会員として支えて下さい。会費納入をよろしくお願い致します。  
 会費：活動会費（実際に活動に参加される方と、会報の講読という形で支援して下さる方） 2,000円/年  
 賛助会員（資金的な面から支えて下さる方と法人・団体会員） 10,000円/年  
 郵便振替 (02110-0-24908) でお送りください。

## 地球市民フェスティバル開催

10月5日・6日の二日間にわたって「第12回いわき地球市民フェスティバル」が、小名浜港アクアマリンパークで催されました。初日はあいにくの雨模様で、来場者の出足も芳しくありませんでしたが、6日は好天に恵まれ、たくさんの笑顔があふれました。

今回のフェスティバルは、いわき市主催の「いわきサンシャインフェスタ」の一部として、「太平洋諸国舞踊祭」や「大物産展」と共に組み込まれ、4張りのテントブースでの実施となりました。今年のテーマは「笑顔でつなごう！世界の子供の遊びとおもちゃ」ということで、東日本国際大学の留学生が自国の遊びを披露したり、各出展団体が関連する国の遊びを体験できるコーナーを設けたりと、狭いながらも楽しい企画が一杯のフェスティバルとなりました。特に、カロム（卓上サイズの指ではじくビリヤード）の体験コーナーでは舞踊祭に参加している太平洋諸国のダンサーとブースを訪れた子供たちのにわか対戦も行われ、笑い声が途絶えることがありませんでした。



ピープルではこのほかにチャリティバザーコーナーも設け、ふくしまオーガニックコットンTシャツや古着リメイク品、支援先のタイからの民芸品等を販売し、大勢のお客様にお買い上げいただきました。

## 繊維製品であれば全て回収します！

古着を燃やさない福島県を！目指し取り組んで25年。古着を燃やさない社会づくりの機運は全国に広がっていると感ずる昨今です。ピープルの古着リサイクル率は93%を越え、現在100%に近い数値になっています。これは、今年度から自動車の内装材としての活用できるルートが開拓されたためです。

一昨年までは、輸出業者を通して月約8トン海外に渡しておりました。しかしこうしたことは、いいかえれば国内で必要でなくなったものを、海外に押し付けているものであって、本会が目指すリサイクル本来の姿ではないのかもしれない…と、常に問題意識を持っていましたが、国内での活用ルートが無い状態では、なかなか切替が出来ない状態でした。ようやく念願だったルートを確保出来た為、古着回収の拡大に向け本格的に取り組む体制が整いました。そのため本会ではオーガニックコットン栽培の農業支援で来られる皆様にチラシや本会の活動の冊子をお渡し、現在の活動状況を伝え協力をお願いしているところです。

最近市内の企業から「工場見学の際に使う帽子が大量に出る。捨てるのは勿体ないので是非リサイクルしてほしい」との申し込みがありました。この様に企業との連携協力体制がこれからは大切と考えています。企業全般にお願いしたいことですが、作業服の切替などに際し出る古着は少々の傷や汚れが残っているものであってもお引き受けいたします。繊維製品については是非本会にご提供ください。



## イベントカレンダー

- 11月 1日(金)・・・上荒川ヨークベニマル ついたちバザー
- 27日(水)・・・大原ヨークタウン 定例バザー
- 12月 1日(日)・・・上荒川ヨークベニマル ついたちバザー
- 22日(日)・・・大原ヨークタウン 定例バザー (今年度最終)
- 22日(日)・・・ぼくとわたしの海辺のクリスマス